

●学術講演会で示唆された温熱効果（婦人科 不妊）（9例発表）

- ・採卵数は変わらず、良好胚数が増えて、胚の質の改善が示唆された。
- ・薄い子宮内膜に改善がみられた。
- ・子宮及び卵巣に好影響を及ぼし、反復不成功例に対して、考慮される代替医療と示唆された。

●学術講演会で示唆された温熱効果（産婦人科）（1例発表）

- ・血流を改善する事により母乳分泌を早期に促す可能性があると分かった。

学術講演会演題一覧

- ・第55回 日本生殖医学会 総会・学術講演会  
遠赤外線照射器(サン・ビーマー)を用いた温熱療法 山下レディースクリニック
- ・第28回 日本受精着床学会学術講演会  
遠赤外線照射器(サン・ビーマー)を用いた温熱療法 山下レディースクリニック
- ・第50回 日本不妊学会学術講演会  
遠赤外線を併用した80妊娠症例の検討 アモルクリニック  
遠赤外線療法（サン・ビーマー）の効果と思われるART反復不成功例における妊娠例  
浅田レディースクリニック
- ・第48回 日本不妊学会学術講演会  
遠赤外線を併用した50妊娠症例の検討 アモルクリニック
- ・第105回 日本産婦人科学会関東連合地方部会  
ART進歩の現状と未来予測 セキールレディースクリニック
- ・第74回 日産婦愛知地方部会学術講演会  
遠赤外線照射による卵胞発育への補助効果の検討 さわだウィメンズクリニック
- ・第46回 日本不妊学会学術講演会  
遠赤外線治療にて妊娠に至った10不妊症例 アモルクリニック
- ・生殖医療を考える神奈川県若手医師会の会  
遠赤外線治療が有効であった3不妊症例 アモルクリニック
- ・第122回 日本不妊学会関東地方部会学術講演会  
遠赤外線治療が有効であった3不妊症例 アモルクリニック

産婦人科

第18回母乳育児シンポジウム

母乳分泌を早期に促すための試み～遠赤外線を使用して～

導入施設数（不妊専門施設）36施設（2018年4月）

\*提携のみの施設は記載していません。

# 第55回日本生殖医学会学術講演会

平成22年11月11日(木)・12日(金)

P-106

遠赤外線照射機器(サン・ビーマー)を用いた温熱療法

山下レディースクリニック

○是兼 真子、岩山 広、石山 舞、山下 正紀

【目的】 サン・ビーマーはART不成功症例にとって有効な代替医療の一つであることが示されているが、その効果を詳細に検討した報告は少ない。そこでサン・ビーマーをART不成功例に一定期間使用してもらい、その効果を通常ARTで行う検査から評価可能であるかを検討した。【対象と方法】 対象は当院で採卵および胚移植を2回以上行うも、妊娠に至らなかった39歳以下の5症例とした。対象症例には自宅でサンビーマーを1日1回以上、1回につき30分以上使用することを義務付けた。また、サンビーマー使用開始から4周期目に刺激周期で採卵を行った。

【結果】 5症例中の1日のサン・ビーマー平均使用回数は0.4、2.4、1.9、1.1、1.0回、1回あたりの平均使用時間は30.5、52.6、36.1、57.8、58.7分であった。周期3日目のFSH値、LH値、AMH値についてはサン・ビーマーの使用回数に関わらず、一定の値であったが、サン・ビーマー使用直後に卵巣近傍血管および子宮近傍血管の血管抵抗値は低下する傾向に見られた。また、その後のART治療で5症例中3症例が妊娠に至った。

【結論】 これまでにも報告されているように、サン・ビーマーによる温熱療法がART不成功症例に対して有効であることが示された。しかし、通常行っている検査からはその効果を評価することは出来なかった。

# 第 28 回日本受精着床学会学術講演会

平成 22 年 7 月 28 日（水）

〇-61

## 遠赤外線照射器(サン・ビーマー)を用いた温熱療法がART不成功症例にもたらず効果

山下レディースクリニック

〇是兼 真子、岩村 広、石山 舞、床並 香織、山下 里加子、大下 伸子、  
榎本 千栄見、山下 正紀

【目的】体外受精や顕微授精を行うも良好胚が得られず、妊娠に至らない症例は少なくない。このような症例に対してサン・ビーマーを用いた温熱療法が有効であるかを検討した。【対象と方法】当院で2回以上再採卵を行うも良好胚が得られず、妊娠に至らなかった39歳以下の5症例を対象とした。採卵を行う3周期前から、自宅で1日1回以上、1回につき30分以上サン・ビーマーの使用を義務付けた。また、採卵や胚移植を含め、全ての治療が終了するまでサン・ビーマーの使用を継続した。【成績】サン・ビーマー使用前と使用後の血管抵抗値(RI)は子宮近傍血管で5症例中4症例、卵巣近傍血管で5症例中3症例に数値の低下が見られた。また、前回の採卵と比較して受精率に差は見られなかったが、全ての症例で胚盤胞到達率に改善が見られた。また、新鮮胚移植で5症例中2症例、凍結融解胚移植で3症例中1症例に胎嚢が確認され、現在2症例が妊娠継続中である。【結論】サン・ビーマーを用いた温熱療法はART不成功症例に対して有効な効果をもたらす可能性が高い。

# 第50回日本不妊学会学術講演会

平成17年11月16日(水)・18日(金)

P-331

## 遠赤外線療法(サンビーマー)の効果と思われる ART反復不成功例における妊娠例

浅田レディースクリニック ○浅田義正, 佐々木美緒, 清水 望  
北坂浩也, 吉村友邦, 太田亜希  
内藤真弓, 服部久美子, 永井利佳  
長嶋有希子, 立木 都, 園原めぐみ  
羽柴良樹

【目的】ART反復不成功例は不妊専門クリニックにとって大きな問題である。反復不成功例を少なくするため、刺激法変えるなどいろいろな試みがなされてきた。代替医療もそのひとつである。今回われわれは代替医療のひとつとして、遠赤外線治療器(サンビーマー)を、子宮及び卵巣の血流改善を目的に導入し、その効果によると思われる重症の反復不成功例の妊娠例を経験したので報告する。

【症例1】33歳当院治療開始、妊娠時39歳。他院にて8回の体外受精治療後当院受診。当院において11回目(Total18回目)の体外受精(Long6, Antagonist 2, Short3, ThawedET10)で妊娠。その間、二段階胚移植、子宮内膜との共培養等あらゆる治療を施行した。

【症例2】32歳当院治療開始、妊娠時37歳。他院にて2回の体外受精治療後当院受診。当院において9回(Total11回目)の体外受精(Long2, Antagonist 6, Short1, ThawedET9)で妊娠。子宮内膜が薄く、通常4~6mmであったが、妊娠周期の胚移植時8mmであった。

【症例3】35歳当院治療開始、妊娠時40歳。他院にて6回の体外受精治療後当院受診。当院にて5回の体外受精(Long4, Antagonist 1)を施行したが、反応悪いため、以後クロミフェン採卵となった。受精卵を前核期凍結し、融解胚移植にて妊娠。Total18回のクロミフェン採卵を施行した。

【結語】遠赤外線療法(サンビーマー)は直接骨盤内の血流を改善し、子宮及び卵巣に好影響を及ぼすと思われる。当院における反復不成功例54症例中、30症例(56%)が妊娠反応陽性となり、19症例(35%)が臨床妊娠となった。サンビーマーはART反復不成功例に対して、考慮されるべき代替医療と思われる。

# 第50回日本不妊学会学術講演会

平成17年11月16日(水)・18日(金)

P-330

遠赤外線を併用した80妊娠例の検討

アモルクリニック ○児島孝久

遠赤外線は8~15ミクロンの波長を有し人体と同じ波長のため身体の深部まで到達できる特徴があり、その結果血流の改善や細胞の活性化がおこり、卵巣(特に卵胞発育)の機能改善が期待される。ARTを含む不妊治療にて妊娠しなかった難治性症例に対し、この遠赤外線治療を過去5年間で計517例実施し妊娠に至った80症例を検討した。対象の年齢は $35.0 \pm 3.2$ 才、不妊 $3.0 \pm 2.2$ 年、初診から妊娠までの期間は $2.2 \pm 1.5$ 年、不妊原因は男性不妊が45例、卵管因子2例、内膜症例2例、免疫性1例、原因不明30例であった。遠赤外線のための妊娠は5例、クロミド3例、HMG3例、AIH3例、IVF=ET15例、ICSI52例と、ARTによる妊娠が大多数を占めた。遠赤外線の実施期間は1週間以内が27例、1月以内が24例、1~6月26例、6月以上が3例あった。妊娠予後は自然流産か12例子宮外妊娠が4例、多胎9例、残りは正常妊娠であった。ARTにて妊娠に至った67例中、治療前後で採卵個数、良好胚数(gr-1)を検討した結果、採卵数には変化がなかったが、良質胚数には有意差はないものの増える傾向にあった。また、著名に胚の質の改善がみられた症例(11例)における遠赤外線治療期間は、改善のみられなかった症例(36例)と比較すると、有意に長く遠赤外線を実施していた。このことから遠赤外線治療は、卵(胚)の質を改善させる働きがあり、難治性の不妊治療に併用する価値があると思われた。

# ●第48回日本不妊学会学術講演会

平成15年10月1日(水)・2日(木)

253

## 遠赤外線を利用した50妊娠症例の検討

アモルクリニック○児島孝久

遠赤外線は8-15ミクロンの波長を有し人体と同じ波長のため身体の深部まで到達できる特徴があり、その結果血流の改善や細胞の活性化がおこり、卵巣(特に卵胞発育)の機能改善が期待される。ARTを含む不妊治療にて妊娠しなかった難治性症例に対し、この遠赤外線治療を過去3年間で計354例に実施し妊娠に至った50症例を検討した。対象の年齢は $34.6 \pm 3.2$ 才、不妊期間は $2.6 \pm 2.0$ 年、治療開始から妊娠までの期間は $2.4 \pm 1.5$ 年、不妊因子は男性不妊が25例、卵管因子1例、内膜症2例、免疫性1例、原因不明21例であった。遠赤外線治療のみの妊娠は5例、クロミド3例、HMG2例、AIH3例、IVF-ET11例、ICSI27例と、ARTによる妊娠が大多数を占めた。遠赤外線の実施期間は1週間以内が12例、1ヶ月以内が13例、1~6ヶ月21例、6ヶ月以上が4例あった。妊娠予後は自然流産が5例、子宮外妊娠が4例、多胎が5例、残りは正常妊娠であった。ARTにて妊娠に至った38例中、治療前後で採卵ケ数、良好胚数(gr-1)を検討した結果、採卵数には変化がなかったが、良好胚数は有意差はないものの増える傾向にあった。また、著明に胚の質の改善がみられた症例(16例)における遠赤外線治療期間は、改善のみられなかった症例(22例)と比較すると、有意に長く遠赤外線を実施していた。このことから遠赤外線治療は難治性不妊症例に対して、卵(胚)の質を改善させる働きがあり、ARTを含む不妊治療に併用して実施する価値があると思われた。

# 温熱療法により、胚のクオリティを改善

## Profile

下レディースクリニック 山下 正紀 院長

1978年 奈良国立医科大学卒業 京都大学産婦人科に入局、豊前市立総合医療センター産科に転任  
1982年 オーストラリア・メルボルン大学で体外受精の基礎から研究を続け、豊前、豊前市立総合医療センターで最初のGIFT法による妊娠に成功  
1983年 引き続き体外受精にも成功し同院の生殖医療を確立した  
1987年 神戸市中央市民病院に院長、産婦人科医長、体外受精チームとして数多くの患者さんの治療にあたる  
1992年 神戸三宮に山下レディースクリニックを開設



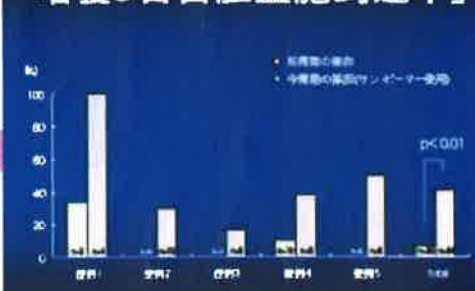
## Theme

平成 22 年 7 月 28 日「第 28 回日本受精着床学会」で発表された「遠赤外線照射器（サン・ビーマー）を用いた温熱療法が ART 不成功症例にもたらず効果」についての解説を山下正紀院長にお願いし、卵子の質がなぜ改善されたのか、そして卵子を育てるための血流のことなどをお伺いしました。

## Point

5 日目の胚盤胞の到達率が、本当の意味で胚のクオリティが改善されたかどうかを表す指標になると思うのです。そして、これは温熱療法によって改善されたと言えます。

## 「培養5日目胚盤胞到達率」



## Method

39 歳以下の、不妊期間が 3 年から 10 年で、体外受精にあたり良好胚を得られず、一度も妊娠したことのない 5 名の方に、採卵を行う 3 周期前から 1 日 1 回 30 分以上、サン・ビーマーの使用をお願いしました。

## 胚盤胞期胚の形態

前周期の胚

今周期の胚  
(サンビーマー使用)



症例 1



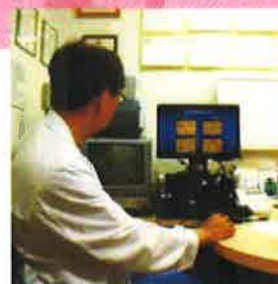
症例 2

## RESULT

### 培養 5 日目の胚盤胞到達率が改善

2 回、3 回、4 回と採卵を繰り返して来て良い卵が採卵できなかった時点で、妊娠はもう難しいと言っていた方の卵がこういう状態までなった。

この卵なら妊娠のチャンスが十分にあるといえます。このときの手応えとしては「あるぞ！」と思いましたね。



## Study

対象症例には、採卵の 3 周期以上前から毎日サン・ビーマーを使用してもらっており、採卵された卵子は二次卵胞からグラーフ卵胞への発育過程にあったと考えられる。この時期に卵巣の血流が改善傾向にあったことで、卵胞および卵子の発育に好影響を与えた可能性があると考えられる。



## 遠赤外線温熱治療をご自宅で体験してみませんか。

ながいきや本舗では、サンビーマーの家庭用治療器サンマット（マットタ等）のレンタルを行っています。ご希望の方には、サンマットのレンタルパンフレットとオリジナル使い方ガイドをお送りいたします。電話または、ながいきや本舗のホームページからお申し込みください。



家庭用温熱治療器  
サンマット B5-20 型



家庭用温熱治療器  
サンマット FLL 型

ながいきや本舗について知りたい方は

ながいきや本舗   で検索！

サンマットについてのお問い合わせは

**0120-496-333**  
受付時間：9:00～19:00（土日祝除く）